



記者発表資料

千葉開府 Road to 900 since 1126	令和元年7月17日 教育委員会事務局 生涯学習部生涯学習振興課 電話 245-5933 内線 8271
--------------------------------------	---

「科学自然都市協創連合～宇宙開発発祥の地から繋ぐコンソーシアム～」加入記念イベントを開催します
～東京大学生産技術研究所の大島まり教授が市立稲毛高校附属中学校で記念授業を実施～

令和元年7月23日（火）に国立新美術館にて、「科学自然都市協創連合～宇宙開発発祥の地から繋ぐコンソーシアム～」設立に係る調印式が行われます。科学自然都市協創連合とは、日本のロケット開発黎明期におけるロケット開発にゆかりのある各自治体（千葉市、東京都杉並区、東京都国分寺市、秋田県由利本荘市、秋田県能代市、鹿児島県肝属郡肝付町）及びその開発を、中心となって進めた糸川英夫教授が所属していた東京大学生産技術研究所が組織するコンソーシアムのことです。科学技術を活用して夢と活力のある社会を形成することを目的とし、具体的な地域連携の取り組みをとおして、知恵と経験を共有し、自然の驚異に対峙しつつも自然と触れ合い、生き生きとした生活を営めるまちづくりに取り組んでいきます。

千葉市では、本コンソーシアムの加入を記念し、市立稲毛高校附属中学校の生徒に、東京大学生産技術研究所の大島まり教授が記念授業を行いますので、お知らせします。今後も本コンソーシアムと連携し、これまで以上に教育委員会の施策の充実を図っていきます。

1 日時

令和元年7月22日（月）10：25から
※50分の授業を2回 予定

2 場所

千葉市立稲毛高校附属中学校 給食棟（美浜区高浜3-1-1）

3 講演者

東京大学生産技術研究所教授・次世代育成オフィス（ONG）室長 大島 まり 様

4 授業対象

千葉市立稲毛高校附属中学校 第3学年 80名

5 演題

「血液の流れをしらべてみよう（仮題）」

6 取材について

取材を希望する場合は7月19日（金）17：00までに、生涯学習振興課へ件名・社名・記者名・駐車の有無について、電話かメールでお申し込みください。

電話 245-5933

メール shogaigakushu.EDL@city.chiba.lg.jp

《参考》

ロケット開発の歴史

東京大学生産技術研究所の糸川英夫教授らが進めたロケット研究開発は、西千葉の地（現、千葉市稲毛区弥生町）に始まり、荻窪の地（現、東京都杉並区桃井）に産業界の同志を得て軌道に乗り、1955年（昭和30年）4月に国分寺の地（東京都国分寺市本町）で記念すべきペンシルロケットの水平飛翔公開実験を実施しました。その後は、西千葉で継続された水平発射飛翔実験を経て、上空への斜め飛翔実験を実施すべく、道川（現、秋田県由利本荘市岩城）および能代（現、秋田県能代市浅内）、内之浦（現、鹿児島県肝属郡肝付町）へと急ピッチで飛翔実験の拠点を展開していきました。これら各地は、ロケット研究開発の黎明期に、「ロケット研究発祥の地」と称するにふさわしい歴史的な経緯を備えています。

西千葉駅には、「千葉市は日本のロケット研究発祥の地」と刻まれた石碑が建っています。